

宮川委員長が詰め寄る

昭和34年1月
日裏庄太郎氏 奥足寄の
り橋の状態はみていな
が、建設委員からもき
ており、稻牛方面はも
て橋が壊されて交通が
きないという。応急の
置を講じたのか、緊急
と奥足寄のつり橋を架
げなかなかつたのか、

諸戸助役 建設委員会に諮問した際、出来るだけ下の方へ下げる様にとの意見を頂いたので、その趣旨にそつてこれ以上動かさない所まで下げた。

○：こゝろいつた議会の所
応答というものは新聞
で勝手に書けるもので
く、傍聴者のいる公開
上での発言を要約して

議会の模様は、あつた
たいことでもなく、困
町政ぶりだという感じ
たえている。

出た。使館が「や」北海タイム
 海道新聞」や「北海タイム
 新聞」などの大新聞がなり得
 ない、本紙なればこそその
 取材とお認めねがいたい。
 ○暮のこの議会は役場が
 新庁舎に移つての初めでの
 招集なので、議事堂ひらき
 々でもあり普通ならシヤン
 ないものである。

足寄町 電話三一八

中

小林準

伊東ちとせ